

養豚場周辺土壌の 放射性物質検査書

【解説】

農林水産省では現在、肥料原料の汚泥に基準を定めております。今回の検査結果は、その暫定規制値200Bq/kgをはるかに下回るものでした。どうぞご安心くださいませ。

また、東電福島第一原発事故以前における全国の農地土壌の放射性セシウム濃度の平均が、約140Bq/kg～約20Bq/kgでした。この度の数値はその範囲内でもあります。よって当社では、この土壌が安全であると判断いたします。

【用語】

「検出限界」 検査において、検出できる限界の量（最小の値）です。それを上回ると数値が記載され、限界を下回ると「検出せず」と記載されます。前述の通り、数値の記載が直ちに危険なわけではありません

養豚場の豚は、畜舎のなかで飼育され、日ごろから屋外土壌との接触の少ないものです。また表土中のセシウムが地下水脈まで浸透することはありませんので、従って、今後も当社の豚肉が汚染される可能性はほぼありません。安心してお召し上がりくださいませ。

高源精麦株式会社



第 11-01478-03 号

平成 23 年 7 月 27 日

放射性物質検査結果書

高源精麦株式会社 様

〒020-0125

盛岡市上堂3丁目17番37

社団法人 岩手県薬剤師会

岩手県医薬品・衛生検査センター

TEL 019-641-4401 FAX 019-641-4792



平成 23 年 7 月 26 日に受付けいたしました検体の検査結果は次のとおりです。

1. 検体情報

検体名	土壤
採取場所	高源第一農場
採取者	寺沢 三夫
採取日時	平成 23 年 7 月 25 日 12 時 00 分

2. 検査日時

平成 23 年 7 月 26 日 13 時 30 分

3. 検査結果

検査項目	測定値	単位	検出限界
放射性ヨウ素 (I-131)	検出せず	Bq/kg	20 Bq/kg
放射性セシウム (Cs-134とCs-137の総量)	71	Bq/kg	10 Bq/kg
Cs-134	32	Bq/kg	10 Bq/kg
Cs-137	39	Bq/kg	10 Bq/kg
測定機器	NaI (TI) シンチレーションスペクトロメーター CAPINTEC 製 Captus300		
試験方法	NaI (TI) シンチレーションスペクトロメーター機器分析法 (S49年文部科学省科学技術・学術政策局 原子力安全課防災対策室)		
前処理方法	緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法 (H4年文部科学省科学技術・学術政策局原子力安全化防災対策室)		
備考:	上記の結果は、有姿当りです。		

検査責任者: 菊地 学



第 11-01478-04 号

平成 23 年 7 月 27 日

放射性物質検査結果書

高源精麦株式会社 様

〒020-0125

盛岡市上堂3丁目17番37号

社団法人 岩手県薬剤師会会館

岩手県医薬品・衛生検査センター

TEL 019-641-4401 FAX 019-641-4792



平成 23 年 7 月 26 日に受付けいたしました検体の検査結果は次のとおりです。

1. 検体情報

検体名	土壤
採取場所	高村畜産センター
採取者	畑山 満
採取日時	平成 23 年 7 月 25 日 12 時 00 分

2. 検査日時

平成 23 年 7 月 26 日 14 時 19 分

3. 検査結果

検査項目	測定値	単位	検出限界
放射性ヨウ素 (I-131)	検出せず	Bq/kg	20 Bq/kg
放射性セシウム (Cs-134 と Cs-137 の総量)	36	Bq/kg	10 Bq/kg
Cs-134	17	Bq/kg	10 Bq/kg
Cs-137	18	Bq/kg	10 Bq/kg
測定機器	NaI (TI) シンチレーションスペクトロメーター CAPINTEC 製 Captus300		
試験方法	NaI (TI) シンチレーションスペクトロメーター機器分析法 (S49 年文部科学省科学技術・学術政策局 原子力安全課防災対策室)		
前処理方法	緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法 (H4 年文部科学省科学技術・学術政策局原子力安全化防災対策室)		
備考:	上記の結果は、有姿当りです。		

検査責任者: 菊地 学